

事務局報告

平成15年度の学術大会は、田中良明大会長(日本大学)のもとで、11月14日(金)、15日(土)の両日に東京都千代田区、日本大学会館において開催されました。今回の大会は、研究会事務局の担当で代表世話人でもある田中が大会長を兼ねることになりました。大会のメインテーマは「断層映像の新たな展開－形態診断から機能診断へ」で、3つのシンポジウム「マルチディテクタCT(MDCT)の最新情報」、「画像診断の進歩と放射線治療－治療計画と効果判定にどのように役立っているか－」、「PET診断のすべて」と、ワークショップ「肺病変を断層像でどこまでとらえられるか」が企画されました。いずれも断層映像に関する最新のテーマが取り上げられ、レベルの高い内容の研究発表と活発な討論が行われました。

シンポジウム1のMDCTに関しては、最近の装置ならびに画像処理ソフトの発達を踏まえて、ダイナミック造影による画像解析や三次元再構成画像について言及されました。2つ目の課題は昨年の大会のメインテーマ「腫瘍の治療効果予測・効果判定のための画像診断」の一部を引き継いでおり、この領域での画像診断の果たす役割を再認識させられました。3つ目のPET診断では、fusion imageの役割がより一層明らかになり、臨床応用におけるPETの有用性が一段と高くなった感が致しました。肺病変の解析に関するワークショップでは、主として肺の実質性病変と間質性病変などの画像診断について、最近の知見を交えて発表と討論が行われました。

特別講演はAdrian K Dixon教授(英国Cambridge大学Addenbrooke's病院放射線科)による「Cross sectional imaging of the abdomen: Guidelines and referral criteria」で、英国における放射線診断ガイドラインの刊行経緯と内容について講演していただきました。Dixon先生は、英国の放射線科専門医会で「放射線診療におけるガイドライン」の作成委員長として活躍されましたので、英国における放射線診療の現状を理解する上で大いに参考になりました。余談ですが、講演の後、Dixon先生を囲んで、放射線科専門医会・医会の中で活躍されているガイドライン作製ワーキンググループの代表の方々を中心に懇談会を持ちました。その中でいろいろと討議がなされ、わが国における放射線診療の指針作りに有益な助言を得ることができたことをご報告しておきます(写真)。

一般講演の演題は14題とやや少なかったこともあり、口演と展示の両方の発表となりました。この中で死後の画像診断に関する演題発表が2題あり、オートプシーイメージング学会の設立状況についても会場から紹介がありました。この分野での新たな研究体系の展開が期待されます。詳しくはホームページをご覧ください(<http://plaza.umin.ac.jp/~ai-ai/>)。

以下に、学術大会中に行われた世話人会、総会の議事要旨を掲載します。

平成15年度断層映像研究会世話人会議事要旨

日時：平成15年11月14日(金)12:00～13:00

場所：日本大学会館会議室

出席者：田中良明(大会長)、伊藤勝陽、宇野公一、大島統男、西条隆夫、宍戸文男、杉村和朗、高橋元一郎、田村正三、中條政敏、植林 勇、原田潤太、本田憲業、本田浩、町田喜久雄、村山貞之、吉田祥二、福田国彦、藤井恭一、奥畑好孝(事務局)

議事：

1. 平成14年度の事業報告、決算報告、監査報告(福田国彦、藤井恭一両監事)が行われ、別紙のように承認された。
2. 庶務報告として、会員数、会員動態および会費納入状況が報告された。会員数は、平成15年9月30日現在で386名(うち37名は特別会員、11名は功労会員)、会員動態は平成14年4月1日から平成15年3月31日の間に新規会員13名、退会31名である。会費の長期滞納者については督促すると共に、会員継続の意思確認を行い退会希望者には退会手続きをとることになった。
3. 平成15年度上半期の事業中間報告が行われた。
4. 平成16年度の事業計画、予算案について報告され、別紙のように承認された。
5. 平成15年11月13日(木)開催の編集委員会の報告が町田喜久雄編集委員長から行われた。「要旨」(1)平成14年(Vol 29)は1号は3月末に発行し、2・3合併号は大会抄録号を兼ねて9月に発行、4号は平成15年2月に発行した。(2)次号(31巻1号)は現在、高橋昭喜教授(東北大学)にguest editorをお願いして「MDCT利用による診断」のテーマで編集が進んでおり、平成16年3月に発行の予定である。次々号(31巻2号)は大島統男部長(春日部市立病院)、次々々号(31巻3号：大会開催号)は山下康行教授(熊本大学)にそれぞれguest editorをお願いしている。来年度以降も年3回の発行になる予定である。(3)電子ジャーナルについては(株)メテオインターゲートとの契約で1994年度の20巻2号以降が収録され順次検索、ダウンロードできる状況にある。それ以前の古い雑誌については、事務局には合本製本されたものしかないのも、もし単本で保存されているのであれば、バックナンバーをそろえる意味で逐次掲載していきたい。(4)次回の第33回大会は植林勇教授(大阪医科大学)のお世話で、平成16年10月15日(金)・16日(土)、千里ライフサイエンスセンターで開催される。次々期(平成17年度)は福田国彦教授(東京慈恵会医科大学)が予定されている。次々々期(平成18年度)の大会長について討議され、宍戸文男教授(福島県立医科大学)が推薦され承認された。
6. 世話人として、百瀬敏光先生(東大)、細野眞先生(近畿大)、興梶征典先生(産業医大)、高橋昭喜先生(東北大)、森宣先生(大分医大)が推薦された。
7. 現世話人の綾川良雄先生(愛知医大)、小西淳二先生

生(京都大)が特別会員に推挙された。
 8. 現編集委員長の町田喜久雄先生が来年3月末で定年退職の予定であり、編集委員長交替の件が諮られ、後任として本田憲業先生(埼玉医大総合医療センター)が選出された(任期は平成16年4月から)。町田先生には編集顧問に就任していただく。
 9. この1年間の物故会員は板井悠二先生、池添潤平先生、高橋良吉先生、池田洋先生の4名である。
 以上

(写真説明)
 Dixon先生を囲んで開かれた「放射線診療ガイドライン」に関する懇談会



平成14年度断層映像研究会総会議事要旨

日時：平成15年11月15日(土)13:05~13:15
 場所：日本大学会館
 議事：田中良明大会長の議長のもとで議事が進められ、上記の世話人会報告および編集委員会報告が行われ、いずれも原案通り承認された。

(文責：事務局 田中良明)

平成14年度収支決算報告書
 (平成14年4月1日~平成15年3月31日)

1. 収入の部				2. 支出の部			
項目	予算額	収入額	差異	項目	予算額	支出額	差異
会費	1,800,000	1,668,000	△132,000	報償費	250,000	250,000	0
利子	1,000	100	△900	賃金	0	0	0
前年度繰越	1,500,000	1,583,815	83,815	旅費	180,000	50,000	130,000
雑収入	0	1,260	1,260	需要費	50,000	0	50,000
				役務費	100,000	87,360	12,640
				使用貸借料	50,000	0	50,000
				負担金及び補助金	1,750,000	1,913,300	△163,300
				予備費	921,000	0	921,000
合計	3,301,000	3,253,175	△47,825	合計	3,301,000	2,300,660	1,000,340

収入額(3,253,175)－支出額(2,300,660)＝次年度繰越(952,515)

次年度繰越内訳	郵便振替口座	119,040円
	郵便貯金総合通帳	98,160円
	定期預金(東京三菱銀行)	400,446円
	普通預金(東京三菱銀行)	334,869円

(平成14年3月31日現在)

計952,515円

平成15年度断層映像研究会 世話人会・総会 資料

1号議案：平成14年度事業報告及び庶務報告

1) 平成14年度事業報告

1. 総会 1回

平成14年11月15日(金)

高知市、ホテル日航高知旭ロイヤルホテル

2. 第31回断層映像研究会学術大会

平成14年11月15日(金)、16日(土)

学術大会長 吉田 祥二(高知医科大学)

3. 世話人会 1回

平成14年11月15日(金) 高知市

4. 編集委員会 1回

平成14年11月14日(木) 高知市

5. 研究会雑誌の発行

第29巻2・3合併号(H. 14. 9. 30)発行

第29巻4号 (H. 15. 2. 28)発行

2) 庶務報告 資料1

2号議案：平成14年度収支決算報告ならびに監査結果報告

1) 収支決算報告 資料2

2) 藤井恭一、福田国彦監事より監査報告

平成14年度収支決算報告明細書

(資料2)

1. 収入の部 明細

項 目	金 額	備 考
1. 会 費	小計 1,668,000	
2. 利 子	小計 100	定期預金 53 普通預金 0 郵便貯金総合通帳 47
3. 前年度繰越金	小計 1,583,815	
4. 雑 収 入	小計 1,260	会誌代
収入合計	3,253,175	

2. 支出の部 明細

項 目	金 額	備 考
1. 報 償 金	小計 250,000	事務手当
2. 賃 金	小計 0	
3. 旅 費	小計 50,000	編集委員会旅費
4. 需 要 費	小計 0	封筒作製代
5. 役 務 費	840 84,310 2,210 小計 87,360	振込料 切手、葉書代 宅急便送料
6. 使用賃借料	小計 0	
7. 負担金及び補助金	200,000 1,413,300 300,000 小計 1,913,300	編集委員会補助 会誌発行費 第30回大会補助金
8. 予 備 費	小計 0	
9. 次年度繰越	小計 952,515	
支出合計	3,253,175	

3号議案：編集委員会報告

編集委員会

平成15年11月13日(木)

東京都千代田区、日本大学会館

検討内容報告

1. 断層映像研究会雑誌編集状況および今後の編集方針について
2. 庶務告
 - 1) 平成14年度事業報告、決算報告
 - 1) 平成15年度事業中間報告
 - 3) 平成16年度事業計画、予算(案)について
3. 電子ジャーナルについて
4. 次々々期(平成18年度)の大会長推薦について

4号議案：平成16年度事業計画および予算案

- 1) 平成16年度 事業計画
 1. 総会 1回
 2. 学術発表会 1回
 3. 世話人会 1回
 4. 編集委員会 随時

5. 研究会雑誌の発行 3回

(うち一回は大会抄録号を兼ねる)

- 2) 平成16年度予算書(案) 資料3

5号議案：世話人推薦の件**6号議案：編集委員長交替の件****7号議案：その他**

(資料1)

庶務報告

1. 会員数(平成15年9月30日現在)

会員	338名
特別会員	37名
功労会員	11名
合計会員数	386名

2. 会員動態(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

新規会員	13名
退会	31名

平成16年度 収支予算書(案)

(資料3)

1. 収入の部

項目	予算案	備考
1.会費	1,800,000	6,000×300人
2.利子	500	
3.前年度より繰越金	1,000,000	
計	2,800,500	

2. 支出の部

項目	予算案	備考
1.報奨金	250,000	事務手当
2.賃金	0	アルバイト料
3.旅費及び会合費	60,000	委員会等
4.需要費	50,000	印刷費、事務用品等
5.役務費	100,000	切手代、通信費
6.使用貸借料	10,000	コピー、会議室等
7.負担金及び補助金	1,750,000	会誌発行 1,250,000 大会補助 300,000 編集委員会 200,000
8.予備費	100,000	
9.次年度繰越金	480,500	
計	2,800,500	